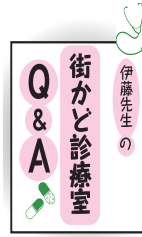




伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。



ぶどう膜炎とは

急に光が眩しく感じ、さらに光を見ると後頭部に痛みを感じる症状を訴えて来院される患者さんについて、真つ先にぶどう膜炎を疑います。白内障術後翌日の患者さんと同様の症状を訴えることが多いですが、その理由は炎症

にあります。

人間の瞳孔を組成している組織を虹彩と言います。茶目とも言われる場所です。これは奥のほうで毛様体、脈絡膜という組織とつながっており、解剖の際にこれらをつなげて取り出すと巨峰のようなぶどうに見えることから「ぶどう膜」と名付けられました。

眼球内で炎症を引き起こす多くの疾患は、このぶどう膜に原因を持っています。網膜の色素上皮細胞の減少を引き起こすため（カメラのフィルムが黒から透明になってしまふようなこと）、治療のしようがない状態に陥るためです。

手遅れになる前に、しっかりとステロイド点眼、ステロイド眼球注射、ステロイド内服などを医師と相談しながら消炎の継続治療するこ

つ場合が多いです。特とが大事です。ステロイドによって眼圧が上がると、続発緑内障になります。視力低下などです。そのまま放置しておくと、恒常的な視力低下を引き起こします。これは、目の中心が濁ってしまうために光が入りづらくなってしまうこと、また慢性炎症は網膜の色素上皮細胞の減少を引き起こすため（カメラのフィルムが黒から透明になってしまふようなこと）、治療のしようがない状態に陥るためです。

☎ 042-439-8123

西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療

■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00 ~ 17:00	検査予約優先	手術	検査予約優先	手術	手術	○	○